

[成果情報名] 裸麦新品種「マンテンボシ」の奨励品種採用

[要約] 耐倒伏性に優れ、整粒歩合が高く、安定した収量性を示し、精麦品質も良好な早生裸麦「マンテンボシ」を奨励品種に採用する。

[キーワード] 裸麦、マンテンボシ、奨励品種、耐倒伏性、整粒歩合、精麦品質

[担当] 香川県農試・作物担当

[連絡先] 087-889-1121

[区分] 近畿中国四国農業・作物生産

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

「イチバンボシ」は多収で精麦適性が高いものの、生産者からはより倒伏に強い品種の採用が求められている。また、全国的に裸麦の品種構成が「イチバンボシ」に偏る中、実需者からは商品開発の多様性を確保するために複数品種の栽培を求められている。このため、栽培適性と精麦適性に優れた新たな品種を栽培品種に加えることで、実需・生産両面の要望に応える。

[成果の内容・特徴]

「マンテンボシ」は「イチバンボシ」と比較して以下のような特徴を有する。

1. 出穂期は2日、成熟期は1日程度遅い早生種である (表1)。
2. 稈長は同程度、穂長は短い (表1、2)。
3. 稈質は強く、耐倒伏性は明らかに優り、中折れ程度も小さい (表1、2)。
4. 穂数は少ない (表1、2)。
5. 千粒重は同程度、粒大はわずかに小粒、粒形は丸い (表1、2)。
6. 屑麦が少なく、整粒歩合が高い (表4)。
7. 収量性は同程度かやや高い (表1、2)。
8. 外観品質は同程度である (表1、2)。
9. 多肥条件下でうどんこ病にやや弱い (表3)。
10. 精麦白度・搗精時間は同等で、精麦適性は高い (表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 普及適応地帯は、県内全域の平坦地で排水良好な麦作地帯である。
2. 耐倒伏性には優れるが、うどんこ病にやや弱いことや、成熟期の遅れを考慮し、多肥栽培は行わない。施肥法および施肥水準は、「イチバンボシ」並とする。
3. 安定生産のためには穂数を確保する必要があるので、播種前並びに生育期の排水対策を徹底し、出芽と分けつを確保する。

[具体的データ]

表1 マンテンボシの生育、収量及び品質

品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (株/m ²)	倒伏 程度	凍霜害 程度	病害		収量 (kg/a)	リットル 重(%)	千粒 重(%)	外観 品質
								うどんこ	赤かび				
マンテンボシ	4.7	5.22	81	4.9	544	0	0	0	0.3	59.9	80.5	33.3	2.4
イチバンボシ	4.5	5.21	81	5.3	593	0.6	0	0	0.4	57.3	80.7	33.3	2.2

[注] 平成7~12年播平均値：全面全層播、施肥量(窒素 kg/a)は0.9(基肥0.6 追肥0.3)
倒伏程度、凍霜害及び病害は0~5の6段階、外観品質は1(上上)~6(下)の6段階評価で示した。

表2 マンテンボシの現地試験成績（平成8～12年播平均値）

地域	品種名	播種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	収量		外観 品質	
									(kg/a)	(%)		
大川	マンテンボシ	11.30	4.9	5.23	77	4.9	588	0.0	46.7	100	32.2	3.3
	イチバンボシ	11.30	4.9	5.23	80	5.0	697	0.4	46.5	(100)	33.1	3.1
小豆	マンテンボシ	11.20	4.3	5.18	90	5.0	401	0.0	48.9	90	34.6	2.6
	イチバンボシ	11.20	3.30	5.17	91	5.3	473	0.0	54.5	(100)	35.8	3.3
高松	マンテンボシ	11.17	4.5	5.20	83	4.7	666	0.3	58.9	114	32.5	3.0
	イチバンボシ	11.17	4.4	5.19	84	4.7	761	0.8	51.7	(100)	33.4	3.3
綾歌	マンテンボシ	11.18	4.6	5.23	80	5.0	541	0.3	51.9	132	32.1	2.8
	イチバンボシ	11.18	4.6	5.21	86	5.3	548	1.5	39.3	(100)	33.2	2.0
仲多度	マンテンボシ	11.17	4.5	5.22	81	5.0	599	0.2	55.4	101	31.5	2.3
	イチバンボシ	11.17	4.5	5.21	83	5.3	678	0.6	54.7	(100)	32.0	2.0
三豊	マンテンボシ	11.23	4.2	5.17	78	4.8	455	0.2	47.0	104	32.4	2.8
	イチバンボシ	11.23	3.31	5.15	76	4.9	498	0.8	45.0	(100)	32.1	2.8

注 1)外観品質は、1(上上)、2(上下)、3(中上)、4(中中)、5(中下)、6(下)の6段階評価である。
2)高松地区は4年(平成8~11年播)、綾歌地区は4年(平成8~9年、平成11~12年播)平均。

表3 うどんこ病発生状況調査（施肥試験ほ場）

供試品種	播種 年次	施肥量kg/10a:基肥-中間追肥-穂肥			
		6-0-3	6-3-3	9-0-3	9-3-3
マンテンボシ	11	1.0	1.5	2.0	2.0
	12	0.5	1.0	1.0	1.5
イチバンボシ	11	0.5	1.0	1.0	1.0
	12	0.5	1.0	0.5	1.5

注) 0(無)~5(甚)の6段階評価で示した。

表4 マンテンボシの品質に関する試験成績

供試品種	整粒歩合 (%)	精麦試験(近中四農研センタ)		
		選粒時間(秒)	歩留(%)	白度(%)
マンテンボシ	93.4	475	80.1	43.8
イチバンボシ	94.3	480	80.4	44.9
サヌキハダカ	89.6	550	80.5	43.5
キカイハダカ	87.0	520	80.1	44.2

注 1)93.7%は奨励品種決定調査標準区平成11年播。
2)整粒歩合は2mmの篩(サイクルソー)による。

[その他]

研究課題名 : 麦類奨励品種決定調査

予算区分 : 県単

研究期間 : 1995 ~ 2001年度

研究担当者 : 大山興央、村上優浩、福島淳、山田千津子、森芳史、西村恵

発表論文等 : 大山ら(2002)香川農試報告54号